

2023 年度 事業報告

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人クローバーの会アットやまがた

1. 事業の成果

事業実施により、さまざまな困難を抱える若者たちが不名誉感や傷つきを感じることなく、気軽に立ち寄ることができる敷居の低いフリースペースの活動ができた。加えて、そこからステップアップする形で地域食堂（子ども若者食堂「みんなでつくたべ！」）を開き、参加する若者の活躍の場を創出することもできた。また親の会で当事者家族の孤立を防ぎ、家族間の雰囲気をやわらげたり、凝り固まった価値観を緩めたりすることで、辛い状況にある方に支援を届けることができた。

3 年目を迎えた小中学生の居場所づくり「フリースクールよつば」は、学校と連携しながら、子ども真ん中の居場所づくりができた。

2018 年から実施している親の会の立ち上げ支援は、三つの市町村で実施。最上町『和・輪・笑でつながる親の会』、尾花沢市『さんぼみち』、村山市『オーガスタ』を立ち上げ、現在も地域の悩める親たちの居場所となっている。連携して活動している西川町の親の会『おれんじルーム』と協力して、文科省の方を講師に招いての教育機会確保法キャラバン(11/23)を実施することができた。

また、ひとり親家庭に重点を置き「フードパントリー」（食料無料配布）を継続して実施したり、相談会を開催したりすることができた。

二年目となる山形市民を対象とした「子ども見守り宅食」では、山形市や山形市社会福祉協議会と連携しながら、自立支援を実施できた。

力を入れて取り組んだ事業は拠点型・訪問型の学習支援（コロナ禍の相対的貧困家庭に対する学習を通じた居場所づくり事業）、不登校の子と親のための居場所マップづくり（不登校の子どもの居場所とその親を支えるネットワークづくり事業）であった。特に、マップ作りにおいて、県内各地の団体や行政機関と直接的なつながりを作ったり、山形大学と協力して保護者アンケートの実態調査を実施できたりしたことは、今後の活動につながる大きな成果であった。

昨年度に引き続き、全ての活動を通じて衛生用品の配布を行い、孤立した女性とつながるきっかけづくりをした。

以上のような事業を通して、多様な背景をもつ、子ども・若者たち、その親たちの困りごとやニーズをキャッチし自立支援に導くことができた。

- ①「不登校・ひきこもりの相談窓口の開設」事業
- ②「子ども・若者に居場所を提供するフリースペース・フリースクールの運営」事業
- ③「不登校・ひきこもりの家庭を対象とした親の会開催」事業
- ④「地域に根ざした親の会の立ち上げ支援」事業
- ⑤「地域住民への理解促進を目的とした学習会などの開催」事業
- ⑥「子ども・若者を中心とした地域食堂の運営」事業
- ⑦「拠点型・出張型学習支援」事業
- ⑧「ひとり親、困窮する子育て世帯への支援」事業
- ⑨「やまがた女性のつながりサポート」事業
- ⑩「不登校の子どもの居場所とその親を支えるネットワークづくり」事業

※①～⑥は「令和 5 年度若者相談支援拠点設置運営事業」の業務委託（山形県しあわせ子育て応援部 女性・若者活躍推進課）により実施。②のフリースクール事業は、認定 N P O 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの「だいじょうぶだよ！基金第 5・6 次助成」と自主財源にて実施。⑦は令和 5 年度未来応援ネットワーク事業(子供の未来応援基金)により実施。⑧は東京都 森 正勝さまからのご寄付、「2023 年カプコンひとり親家庭支援事業」、「こども見守り宅食食品調達・宅食訪問支援」の業務委託（山形市こども未来部こども家庭支援課）により実施。ひとり親の相談会は認定 N P O 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの「だいじょうぶだよ！基金第 5・6 次助成」により実施。⑨は「令和 5 年度やまがた女性のつながりサポート事業」の業務委託（特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミル）により実施。⑩は令和 5 年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業により実施。

2. 事業の実施に関する事項

事業	業務内容など	実施場所	受益者・成果物
①相談窓口	電話・メール・来所による相談	山形市の拠点	のべ408件
出張相談	年間開催回数：24回	山形県内全域	のべ74件
②フリースペースいろは	若者の居場所 年間開設日数：180日	山形市の拠点	のべ2041人
フリースクールよつば	小中学生の居場所開設日数：194日	山形市の拠点	のべ1849人
③親の会	親の居場所 年間開催回数：12回	山形市内の公民館	のべ113人
④親の会立ち上げ支援	立ち上げた親の会：3団体	最上町	和・輪・笑でつながる親の会
		尾花沢市	さんぽみち
		村山市	オーガスタ
⑤講演会	県立保健医療大学 安保寛明氏 11/18	山形テルサ	参加者49人
⑥地域食堂	年間開催回数：24回	山形市の拠点	のべ144人
⑦学習支援	拠点型 年間開催回数：24回	山形市の拠点	のべ149人
	訪問型 年間開催回数：186回	山形市内	のべ198人
⑧フードパントリー	年間開催回数：12回	山形県内全域へ郵送	のべ154世帯550人
ひとり親相談会	年間開催回数：21回	山形市の拠点	のべ26件
子ども見守り宅食	訪問宅食：161回	山形市内	のべ136世帯
	食品調達：339回	山形市の拠点	のべ374世帯
⑨やまがた女性のつながりサポート	衛生用品配布	山形県内全域	のべ260人
⑩不登校の子どもの居場所とその親を支えるネットワークづくり	講演会 子どもの育ちと学び研究所 竹内延彦氏 10/28	やまぎん県民ホール	参加者68人
	やまがた居場所マップ	山形県内全域	1万部発行
	保護者アンケート報告書	山形県内全域	300冊発行

その他

○活動報告 クローバー通信 10回発行（各350部）

○eスポーツ 年間11回（のべ参加者数110人）

○格ゲー部 年間9回（のべ参加者数48人）

○モデラー部 年間6回（のべ参加者数29人）

○卓上ゲーム部 年間6回（のべ参加者数40人）